

# DAKAR RALLY 2020

## クラス11連覇!!

### 日野自動車、ダカール・ラリーへの挑戦。

ダカール・ラリーはクルマを鍛え、人を育てる。

すべてはお客様のために。

※政情不安で中止となった2008年大会をはさんで、1991年以来連続29回目の完走となります。

2019年まで開催された南米から初めて中東に舞台を移し、サウジアラビア開催となったダカール・ラリー2020。幾度となく現れる砂丘や岩場、「フェシュフェシュ」と呼ばれる細かいパウダー状の砂が堆積した地面など、長く険しい道のりを約2週間かけて走破します。完走率わずか20.5%を記録したこともある「世界一過酷」といわれるこのラリーに、日野自動車は新体制となった「日野チームスガワラ」として挑戦しました。前大会を最後に勇退した菅原 義正氏からバトンを継ぎ、今回からチームの代表を務める菅原 照仁ドライバーは1号車を担当。2号車は海外オフロードレースでの経験が豊富な高 郁夫ドライバーがハンドルを握りました。

1号車はトラブルがありながらも、チーム一丸となり奮闘し「排気量10リットル未満クラス」で11連覇を成し遂げるとともに、トラック部門総合10位でフィニッシュ。初参戦以来、連続29回目※の完走も達成。今回新たに開発した2号車はキャブ内のロールバーに亀裂が発生し、乗員の安全が確保できないと判断。終盤のステージ9で無念のリタイアとなりましたが、終始果敢な走りを見せ、貴重な車両データの収集とチームの経験蓄積に貢献しました。

日野自動車は、レースを通じ新たな技術革新に果敢に挑むとともに、携わるスタッフの成長を支え、そしてダカール・ラリーで得た経験を商品やサービスに活かしています。



#### 2020年、サウジアラビアで開催

スタート地点はサウジアラビア国内で2番目に大きい都市、ジェッダ。そこから首都であるリヤドで休息日をはさみ、ゴール地点のキッディヤへ。走行距離7,856km、全12ステージからなるコースに立ちほだったのは、77kmにもわたる高く大きな砂丘群やアップダウンの激しい荒地、大きな石を避けるために時速10~20kmでしか走れない区間など過酷な戦いが繰り広げられました。



「排気量10リットル未満クラス」で11連覇を達成した1号車。

#### 過酷な環境下で試されるチーム力

夜間は気温が一桁台まで冷え込む環境の中、サポートメカニックによる懸命な点検・整備が行われました。限られた工具や部品、スタートまでの短い時間的確な作業を行うため、技術力の高さが試されます。

北米専用車をベースに新開発された2号車。

